

令和6年度心のバリアフリー教育グッドプラクティス 応募資料

学 校 名	我孫子市立湖北台中学校	
ア 全校児童生徒数	285名	(令和6年5月1日現在)
イ 実践対象 (学年・人数など)	① 通常学級生徒 264名 ② 特別支援学級生徒や小学生との交流 21名 ③ ボランティア活動生徒 20名 ④ あじさい学級(校内教育支援学級)生徒 6名 ⑤ 第3学年生徒 97名	
ウ 実践内容 (実施時期・概要など) ※ 画像の挿入可	① ボッチャの授業実践 <ul style="list-style-type: none"> ・4月～8月、副教材「ワンダフルスポーツ」を活用してパラリンピックの内容が掲載されている中から説明した。 ・ボッチャの映像を見せて興味を持たせた。 ・9月、2024パリパラリンピック開催中、パラリンピック競技の競技内容の映像を見ながら、パラリンピックの種目・協議内容について情報を集めグループ活動を行った。また、ボッチャについてもグループで実践する時に試合で一番大切なことや競技内容の話し合いを行ってから実践(試合)をした。  ② 通年でボッチャの授業実践した。(特別支援学級) <ul style="list-style-type: none"> ・年に1度小学校と中学校の特別支援学級交流会を開催している。12月「お楽しみ会」今年は、皆でボッチャ等をして交流を深めた。  ③ 地域との活動 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動「健康まつり」を本校会場で実施。行事の中で地域と中学生の交流「ボッチャ体験」実施 ・中学生が地域の方の健康診断の手伝い、ボッチャについて説明を行い地域の方と一緒に体験した。  ④ あじさい学級(校内教育支援) <ul style="list-style-type: none"> ・12月、身体を動かすことを目的として実施した。 	

	<p>⑤ 11月、社会福祉協会議会の方々を講師として招き、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症について学んだ。</p> 
<p>エ 実践の普及啓発 (地域等との交流や 広報方法など)</p>	<p>③・健康まつりポスター作成 地域と校内掲示(誰でも参加・参観) 学校だより、HP(お知らせ)で掲載 ・地域の自治会に配付</p>
<p>オ 実践成果 (児童生徒の変化など)</p>	<p>①・生徒の感想 ボッチャを体験して誰でも出来るスポーツでグループで話し合いながら作戦会議が楽しかった。(生徒の感想から) ②・仲間と盛り上がった。スポーツをして、いつも勝てない相手に勝てたことが嬉しかった。(生徒の感想から) ・小学生にボッチャの面白さを教えることができた。 ・身体が小さく力がない小学生と作戦会議をしながら楽しむことができた。 ③・チームで作戦を考え対戦するスポーツとして、仲間とのコミュニケーションが活発にとれるようになった。 ・「パラスポーツ」に興味関心を持つ生徒が増えた。 ・運動が苦手な生徒でも、ボッチャスポーツを楽しむことができた。 ④・不登校の生徒が興味を持ちスポーツの楽しさを感じてくれた。普段、話さない生徒同士がコミュニケーションをとり作戦会議をしながら笑顔が増えていた。 ⑤・認知症について、知らないことが多かったです。今回の授業を通して、家族と話し合い困っている高齢者がいた時に優しく声をかけていこうと思いました。(生徒の感想から)</p>
<p>カ 次年度の予定 (課題や改善策など)</p>	<p>①・授業実践のなかで、パラアスリートの体験談を入れ、パラスポーツや、パラアスリートの生き方について考えさせたい。 ②・小中一貫教育の実践として、小学校との交流を深めるために、小学校と連携して行えるようにしたい。 ③・高齢者に限らず、多くの地域住民とさらに交流ができるようにしたい。 ・小中一貫教育の実践として、小学校児童とボランティアを通じた交流ができるように工夫をしたい。</p>
<p>キ 添付資料 (広報資料・Web記事など)</p>	<p>①学校HPに「ボッチャの授業」の様子を掲載 ②学校HPに「お楽しみ会」の様子を掲載 ③健康まつりポスター(生徒作成) ③学校HPと学校だよりに「健康まつり」の様子を掲載 「12月号」 1月号に②「お楽しみ会」の様子を掲載予定 ⑤学校HPに「認知症サポーター養成講座」の様子を掲載</p>